

正式名称

審判報告書

原則は主審がすべて記入

競技会名 AIFA U15サッカーリーグ2019東尾張 第〇節

試合時間 60 分 延長戦 分 会場 小牧市スポーツ公園サッカーグラウンド

正式名称

対戦 A ○○FC 組み合わせの左か上

対 B △△中学校 組み合わせの右か下

結果 1 : 2 (1 : 0) (0 : 2) 延長(:) (:) PK (:)

日時 2019 年 7 月 25 日 12 時 35 分 キックオフ 実際の開始時刻を記入

主審 愛日太郎 所属 日本 副審1 北名古屋弘 所属 東海

第4の審判員 瀬戸四郎 所属 愛知県 副審2 春日井三郎 所属 愛知県

競技場、用具の状態

競技場一人工芝、良好 用具ネットに穴が開いていたので補修後に試合を行った。

1級は日本、2級は東海
3・4級は愛知県と記入する

全て良ければ「良好」と記入

警告(競技者・交代要員)

フルネームを記入

時間	チーム	番号	氏名	理由 ※()内に[反/ラ/異/繰/遅/距/入/去]を記入し、具体的事由を記入
1	1	○○FC	10	○○○○ (ラ) ボールを保持している相手競技者を無謀なタックルで倒した
2	15	△△中学校	5	○○○○ (距) 相手フリーキックの際、インプレーになる前に壁から飛び出しボールに近づいた
3	30+1	△△中学校	3	○○○○ (反) 抜け出した相手競技者のシャツを引っ張って倒した
4	45	○○FC	10	○○○○ (異) 副審のオフサイドの判定に対して異議を示した
5				()
6				()
7				()
8				()

フルネームを記入

警告退場は競技規則の文言を用いて書くとよい。()内の理由と合う文章を心掛ける。

開始からの通算時間を記入。下記のような場合もある
「試合前」「試合後」「HT(ハーフタイム)」

退場(競技者・交代要員)

(詳細は重要事項報告書に記入し提出する。但し警告2についてはこの報告書のみでよい。)

時間	チーム	番号	氏名	理由 ※不正、乱暴、つば、阻止(手)、阻止(他)、暴言、警告2
1	30+2	△△中学校	23	○○○○ 暴言・審判に侮辱的な発言をした
2	45	○○FC	10	○○○○ 警告2・1分と45分に2度の警告を受けた
3	47	○○FC	15	○○○○ 阻止(手)・後方からのファウルとなるタックルで相手の決定的な得点の機会を阻止した

警告・退場(チーム役員)

警・退	時間	チーム	役職	氏名	理由 (警告)※反、異、遅、を記入し、具体的事由を記入 (退場)※乱暴、つば、暴言、警告2、詳細は重要事項に記入
1	退場	ハーフタイム	△△中学校	監督	○○○○ 暴言・ハーフタイムにフィールドに入り、執拗に抗議を行い審判員と対立した
2	警告	60	△△中学校	コーチ	○○○○ 遅・自チームの選手がスローインをする際にボトル渡してスローインを意図的に遅らせた
3					

退場は報告書に簡単に記入したら、重要事項報告書に詳細が分かるように記入すること
(2度目の警告は重要事項報告書は必要なし)

その他の報告事項

会場の準備が遅く、キックオフが5分遅れました。

試合終了後、△△中学校の監督〇〇氏が同チームの選手が退場となった行為について、監督自身も退場となったにも関わらず、執拗に抗議してきたことを報告します。

問題がなかった場合は「特になし」と記入
主審の権限の及ばない時間帯などの懲戒罰にあたる事象
キックオフの遅れ、ユニフォームの不備などを記載

西暦で記入

以上の通り報告いたします。 2019 年 7 月 25 日 主審署名 愛日太郎

主催した県や地域の協会の会長(たいてい愛知県)

〇〇〇 サッカー協会会長殿

審判報告書(重要事項)

競技会名 ※大会の正式名を記入

対 戦 A ○○FC

対 B △△中学校

日 時 2019 年 7 月 25 日 12 時 35 分 キックオフ

退場、その他の重要事項についての詳細

例1 「30+2分△△中学校23番○○○○氏による侮辱的な発言、退場について」

前半アディショナルタイム、センタサークル付近で、相手競技者のファウルタックルを受けた△△中学校

23番○○○○氏が、主審に詰め寄り、「なんでイエローカードじゃないんだ、お前ふざけるな、

審判やめろ」と侮辱的な発言をしたので、退場を命じた。

その判定に対しては、素直に従い、フィールドから出て行った。

例2 「ハーフタイム△△中学校の監督○○○○氏の暴言について」

ハーフタイムに△△中学校の監督○○○○氏が自チームの選手の退場のなった事案について、

フィールドに入り、執拗に抗議を行った。その際には、「それでよく審判をやっているな」「ふざけるな」

と主審に詰め寄り、審判員との間に対立を引き起こしたので、退場を命じた。

また、試合終了後にも、同氏が退場処分となったにも関わらず、執拗に抗議してきたことも申し添えます。

例3 「47分○○FC15番○○○○氏による決定的得点機会の阻止について」

47分に最終ラインを抜け出した相手競技者に対して、○○FC15番○○○○氏が

ペナルティエリア内で後方より右足で、相手競技者10番の左足にタックルを行い、

決定的得点機会の阻止をした。ボールにチャレンジできる可能性もないことから、

退場を命じた。その判定に対しては素直に従い、フィールドから出て行った。

審判報告書に記入した退場について、詳細が分かるように記入する。また、それ以外にもかなり重要なことがあった場合には記入する。

(2度目の警告は重要事項報告書は必要なし)

○タイトル

○客観的な事象「いつ」「どこで」「誰が(に)」「どうした」

以上の通り報告いたします。 2019 年 7 月 25 日 主審署名 愛日太郎

○○○ サッカー協会会長殿